

(別表第4)

第三セクター情報公開資料

1 第三セクター名称等									
名称	株式会社 鳥海高原ユースパーク			電話番号	0184-55-2929				
所在地	秋田県由利本荘市矢島町城内字花立96番地			FAX番号	0184-55-2921				
設立年月日	平成4年5月29日			HPアドレス	http://youthpark.jp/				
2 資本金	60,000千円	市出資金	50,250千円	市出資割合	83.8 %				
3 事業内容	1. 花立地区周辺施設の管理運営(花立クリーンハイツ、簡易宿泊施設、花立体育館) 2. 乳製品の製造並びに販売(花立牧場工房ミルジー) 3. 上記の関する一切の事業								
4 財務状況(令和5年3月31日現在)									
貸借対照表から	項 目	金 額 (千円) 税抜			損益計算書から	項 目	金 額 (千円) 税抜		
		前々年度	前年度	本年度			前々年度	前年度	本年度
	総資産	32,450	31,208	32,743		総収入(売上高+営業外収益+特別利益)	99,163	82,506	82,520
	負債	33,360	32,928	35,575		(内市からの補助金・指定管理料)	16,863	6,655	8,550
	(有利子負債)	27,500	27,200	30,000		経常利益	4,414	△ 626	△ 927
	純資産	△ 910	△ 1,720	△ 2,831		当期純利益	4,230	△ 810	△ 1,111
	利益剰余金	△ 60,910	△ 61,720	△ 62,831		減価償却前当期利益	9,125	△ 610	△ 1,111
5 役職員の状況(令和5年3月31日現在)									
取締役数(うち市出向者・退職者)		7 (退 0)		正職員数(うち市出向者・退職者)		5 (退 0)			
6 第三セクターへの関与の状況(単位:千円 税込み)									
(1) 公的支援(令和5年3月31日現在)									
項 目	前々年度	前年度	本年度	備考(目的、内容、算出根拠等)					
①補助金(助成金)	1,561	100	1,352	指定管理施設等エネルギー価格高騰対策事業費補助金					
②利子補給	0	0	0						
③税の減免額	0	0	0						
④その他	0	0	0						
小 計	1,561	100	1,352						
⑤損失補償契約に伴う金利軽減額	0	0	0						
⑥出資金、低金利貸付等に伴う機会費用	0	0	0						
小 計	0	0	0						
合 計	1,561	100	1,352						
【参考】指定管理料(税込)									
	16,382	7,220	8,054	花立地区周辺施設、農林水産物処理加工施設ほか					
(2) その他(令和5年3月31日現在)									
項 目	前々年度	前年度	本年度						
①損失保証契約に係る債務残高	0	0	0						
②貸付金残高	0	0	0						
③出資金(増資等)	0	0	0						
合 計	0	0	0						
7 添付資料 貸借対照表、損益計算書									

※本資料は、第31期決算報告書(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)に基づいて作成したものである。

決 算 報 告 書

(第 3 1 期)

自 2022 年 4 月 1 日

至 2023 年 3 月 31 日

株式会社 鳥海高原ユースパーク

秋田県由利本荘市矢島町城内字花立60

電話：0184-55-2929

第31期 事業報告

事業概況

株主の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は当社の業務に対し、格別のご支援ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
この度第31期の決算を終えましたので、概況をご報告申し上げます。

令和4年度の日本経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、穏やかな持ち直しが続いております。また、新型コロナウイルス感染症に伴う全国のまん延防止等重点措置は2022年3月末をもって全て解除されました。その一方で、ウクライナ情勢等を背景とした世界的なエネルギー・原材料価格の上昇や欧米各国の金融引き締め等による世界的な景気後退懸念など、日本経済を取り巻く環境には厳しさが増している状況であります。

このような経済状況のもと、当社は安定した経営基盤の強化、確立に向けて鋭意努めて参りました。今年度の総売上高7,242万円となり、昨年度より94万円の増加となりました。各営業部門別の売上実績としては、サービス部（コテージ）は、新型コロナウイルス感染症が全国的に収束し、県外からの予約も増えた事もあり売上前年比45.5%増の571万円となりました。また、製造部（ミルジー、ジャージーハウス）においては、原材料、エネルギーの価格高騰などの影響もあり、ミルジー売上前年比1.4%減の5,879万円、ジャージーハウス売上前年比3.7%増の793万円で製造部合計としては、売上前年比1.2%減の6,672万円となりました。また、当花立地域管理施設においての入り込み客を昨年と比較してみると、昨年度が11,873人に対して今年度は12,318人と3.7%増加しており、新型コロナウイルス感染症も全体的に収束してきた事で、徐々に回復の兆しが見えております。

経費面においては、由利本荘市より無償貸与にて営業活動を行っていた移動販売車（ミルジー号）を令和4年3月に県道仁賀保矢島館合線桃野地内で社員が自損事故を起こしてしまい、市に対して多大なる損害とご迷惑をおかけした事を深くお詫び申し上げます。なお、市への損害賠償金として財産台帳の車両取得価格の10%相当額の467,638円を計上しております。

今後も、多様化する顧客ニーズに対しては、鳥海高原エリアのすばらしさを広く情報発信しながら、自社ブランドのジャージー乳製品の拡販と共に、より多くの利用の呼び込みに努めて、業務拡大に役職員一同邁進致す所存でございますので、今後とも宜しくご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

部 門 別 事 業 報 告

サービス部

「コテージ」

新型コロナウイルス感染症は緩和され県外からの宿泊予約も増加してきており、5月の大型連休や夏休み期間には満室状態でコロナ前に戻ってきている状況です。売上は昨年度より179万円増加、シーズン年間利用者数は昨シーズンから489人増加した1,808人となりました。また、来年度は、宿泊者にジャージーハウスで利用可能な、500円割引券をサービスし、リピーター増加や周辺施設との相乗効果を図って参ります。

経費面については、エネルギーや原材料などの価格高騰により、管理施設運営のための光熱水費や材料費等が値上がりしているため、来年度より1棟当り約19.3%の利用料金の変更を実施いたします。

今後は、建物等の老朽化が目立ってきた施設の維持管理に配慮しながら、より快適な環境を提供できるように努めて参ります。

製造部

「ミルジー工場 移動販売車」

令和4年度は、牛乳・乳製品の消費は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が長期化し、エネルギーや原材料等の物価高による食品全般への生活防衛意識の高まりから低迷して推移しました。また、同年7月には、当社で製造販売している製品（牛乳）につきまして、異物混入が確認され、自主回収を行うに至りましては、お取引いただいている皆様、市の関係各位には多大なるご迷惑をお掛けいたしましたことに深くお詫び申し上げます。

このような中で、今年度の工場売上前年比1.4%減の5,879万円、経常損益196万円を計上しております。また、移動販売車につきましては、今年度は自損事故により車両を使用出来ない状態となり売上はございません。

自社製品売上シェアでは、売上全体の約52%を占めている、ソフトクリームミックス部門は売上前年比10.3%増の3,039万円となり好調な伸びをみせるも、市乳部門は、少子高齢化が進む中で牛乳宅配店も減少傾向にあり売上前年比15.6%減の1,055万円、アイスクリーム部門、ヨーグルト部門はそれぞれ、14.3%減、3.7%減となりました。また、チーズ部門につきましては、製造と販売のバランスに苦慮しておりますが、売上前年比66.5%増と伸びており、来年度に向けて新商品の開発に取り組んでおります。

移動販売車においては、平成27年7月に由利本荘市より購入していただき、無償貸与にて営業活動を行って参りましたが、従業員が自損事故を起こし、車両を使用できない状態となっております。会社としては、これまでも車両の賠償方法については様々、検討して参りましたが、市の方針に従い、車両の損害賠償を行ったうえで、事故車両のコンテナ部分は活用可能であるため引き続き無償貸与させていただくこととなり、来年度に向けて活用方法について模索中であります。

「ジャージーハウス」

新型コロナウイルス感染症も終息し、今年度大型連休期間中の売上を前年度と比較すると88.5%増の132万円、利用者数は前期から527人増加した1,436人となり県外のお客様が増加しております。また、今シーズン期間中の売上は前年度より28万円増の793万円でした。

経費面については、今年度は人員の入れ替えで、売上に対して人件費が前年比で5.8%掛かり増しになっております。また、これまでも、店内に畜産関係の展示物やジャージー牛乳製造工程、栄養成分などのパネルなどを展示してジャージー牛のPRに努めておりますが、今後もホームページ、SNS等に資料展示室の内容を盛り込みながら、ジャージー牛乳振興のPRに取り組んで参ります。

貸借対照表

2023年 3月31日 現在

株式会社鳥海高原ユースパーク

(単位： 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	18,071,977	【流動負債】	35,575,370
現 金	70,393	買 掛 金	1,496,576
預 金	4,696,072	短 期 借 入 金	30,000,000
売 掛 金	5,011,401	未 払 金	1,263,364
商 品	263,164	未 払 給 与	1,643,930
製 品	1,662,986	未 払 法 人 税 等	184,000
原 材 料	942,828	未 払 消 費 税	937,400
貯 蔵 品	5,362,853	預 り 金	50,100
立 替 金	45,780	負 債 の 部 合 計	35,575,370
仮 払 金	16,500	純 資 産 の 部	
【固定資産】	14,671,683	【株主資本】	-2,831,710
【有形固定資産】	13,125,103	資 本 金	60,000,000
機 械 装 置	9,543,466	利 益 剰 余 金	-62,831,710
車 両 運 搬 具	1,374,970	そ の 他 利 益 剰 余 金	-62,831,710
工 具 器 具 備 品	2,206,667	繰 越 利 益 剰 余 金	-62,831,710
【投資その他の資産】	1,546,580	(うち当期純利益金額)	-1,111,421
出 資 金	40,000	純 資 産 の 部 合 計	-2,831,710
差 入 保 証 金	1,500,000	負 債 及 び 純 資 産 合 計	32,743,660
リサイクル預託金	6,580		
資 産 の 部 合 計	32,743,660		

損 益 計 算 書

自 2022年 4月 1日
至 2023年 3月31日

株式会社鳥海高原ユースパーク

(単位： 円)

科 目	金 額	
【売上高】		
売 店 売 上	7,925,059	
宿 泊 売 上	5,709,008	
乳 製 品 売 上	58,788,652	
売 上 高 合 計		72,422,719
【売上原価】		
期 首 商 品 棚 卸 高	61,682	
売 店 仕 入	5,426,209	
合 計	5,487,891	
期 末 商 品 棚 卸 高	263,164	
商 品 売 上 原 価		5,224,727
当 期 製 品 製 造 原 価	43,682,337	
合 計	43,682,337	
製 品 売 上 原 価		43,682,337
売 上 原 価		48,907,064
売 上 総 利 益 金 額		23,515,655
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		34,525,356
営 業 利 益 金 額		-11,009,701
【営業外収益】		
受 取 利 息	77	
受 取 配 当 金	100	
雑 収 入	2,486,753	
管 理 受 託 料	7,321,374	
受 取 手 数 料	289,016	
営 業 外 収 益 合 計		10,097,320
【営業外費用】		
支 払 利 息	14,245	
雑 損 失	794	
営 業 外 費 用 合 計		15,039
経 常 利 益 金 額		-927,420
【特別損失】		
固 定 資 産 除 却 損	1	
特 別 損 失 合 計		1
税 引 前 当 期 純 利 益 金 額		-927,421
法 人 税 等		184,000
当 期 純 利 益 金 額		-1,111,421

販売費及び一般管理費内訳書

自 2022年 4月 1日
至 2023年 3月31日

株式会社鳥海高原ユースパーク

(単位： 円)

科 目				金 額	
役 員 報 酬				1,200,000	
給 料 手 当				8,230,784	
雑 給				5,859,542	
法 定 福 利 費				1,502,906	
福 利 厚 生 費				402,544	
荷 造 運 賃 発 送 費				3,638,016	
広 告 宣 伝 費				402,634	
交 際 費				25,759	
会 議 費				35,776	
旅 費 交 通 費				70,871	
通 信 費				477,281	
販 売 手 数 料				492,723	
販 売 促 進 費				244,188	
消 耗 品 費				541,658	
事 務 用 消 耗 品 費				355,012	
修 繕 費				734,507	
水 道 光 熱 費				2,604,782	
新 聞 図 書 費				15,710	
諸 会 費				72,305	
支 払 手 数 料				261,661	
車 両 費				998,889	
リ ー ス 料				4,138,660	
保 険 料				463,467	
研 究 開 発 費				3,511	
賃 借 料				110,002	
租 税 公 課				70,713	
委 託 料				958,239	
リ ネ ン 費				124,030	
配 送 手 数 料				273	
雑 費				21,275	
支 払 賠 償 金				467,638	
販売費及び一般管理費合計					34,525,356

製造原価報告書

自 2022年 4月 1日
至 2023年 3月31日

株式会社鳥海高原ユースパーク

(単位： 円)

科 目	金 額	
【総製造費用】		
【材料費】		
期首原材料棚卸高	1,096,592	
期首製品棚卸高	2,024,663	
期首貯蔵品棚卸高	5,041,843	
当期材料仕入高	15,509,474	
当期貯蔵品仕入高	5,310,087	
合 計	28,982,659	
期末原材料棚卸高	942,828	
期末製品棚卸高	1,662,986	
期末貯蔵品棚卸高	5,362,853	
材 料 費 合 計		21,013,992
【労務費】		
給 料 手 当	8,545,153	
雑 給	997,052	
法定福利費	1,333,278	
福利厚生費	359,366	
労 務 費 合 計		11,234,849
【製造経費】		
消 耗 品 費	1,751,208	
事務用消耗品費	30,560	
車 両 費	74,777	
修 繕 費	280,783	
水道光熱費	8,501,884	
租 税 公 課	20,500	
保 険 料	32,700	
外 注 費	12,000	
保 安 委 託 料	729,084	
製 造 経 費 合 計		11,433,496
総 製 造 費 用		43,682,337
合 計		43,682,337
当期製品製造原価		43,682,337

株主資本等変動計算書

自 2022年 4月 1日
至 2023年 3月31日

株式会社鳥海高原ユースパーク

(単位： 円)

【株主資本】

資 本 金	当期首残高		60,000,000
	当期末残高		60,000,000
利 益 剰 余 金			
そ の 他 利 益 剰 余 金			
繰 越 利 益 剰 余 金	当期首残高		-61,720,289
	当期変動額	当期純利益金額	-1,111,421
	当期末残高		-62,831,710
利 益 剰 余 金 合 計	当期首残高		-61,720,289
	当期変動額		-1,111,421
	当期末残高		-62,831,710
株 主 資 本 合 計	当期首残高		-1,720,289
	当期変動額		-1,111,421
	当期末残高		-2,831,710
純 資 産 の 部 合 計	当期首残高		-1,720,289
	当期変動額		-1,111,421
	当期末残高		-2,831,710

注 記 表

株式会社島海高原ユースパーク

重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっております。

固定資産の減価償却の方法

法人税法の規定による定率法によっております。

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 17,325,833円